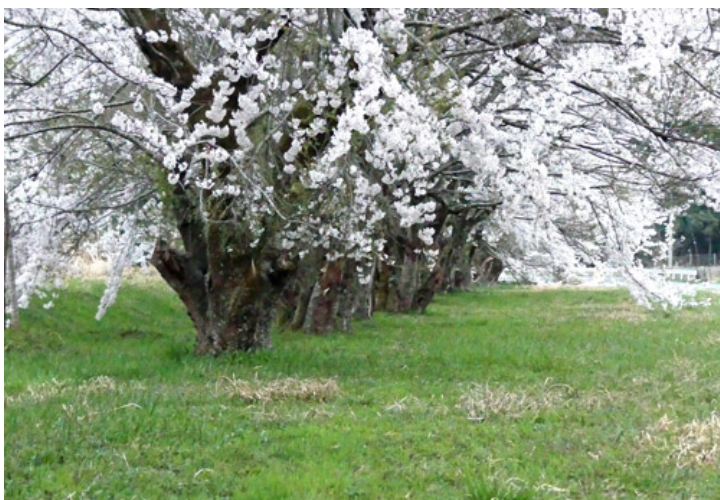


5780 **KURAKU** 久楽心模様：朽木溪谷から、琵琶湖への道中にて ⑦

.....

朽木溪谷から、琵琶湖までは下りだが、若者のようには行かない。お尻に重心が行きがち。単身なのでマイペース。スローなゆえに、魚の行列やトンビの目撃の記録ができた。輝いて見えた、何でもない花。一度、通り過ぎたが、戻って画像記録。今現在の状況は、この旅のスタイルを楽しんでいる。私には、体の足し、心の足し。厳しい体験は、心に残るもの。私には、いい思い出、心の財産になる。琵琶湖編は、この辺でと思ったものの、厳しい世相。いま少し、自然や道中での顛末<sup>てんまつ</sup>をご紹介します。



## ～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

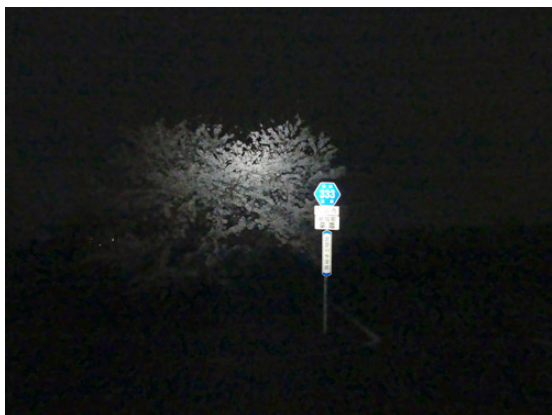
朽木溪谷から、琵琶湖への道中、**安曇川の堤には、桜並木**がある。

日も暮れる。楽しんでいる場合ではないのだが、以前、苦戦した、実体験が役立つ。

山より大きな獅子は出ない。暗闇だが、安曇川から、琵琶湖沿い、距離もあるが、

近江今津までは、**自転車道は整備**されているので、デイボットもなく、安心との思いもある。

湖岸沿いだが、琵琶湖も、**墨を塗ったような**状態。遠目、夜目、目には優しい。



ビームライトをあてて、画像記録。